

近畿地方整備局
配布資料

配布 日時	平成19年 1月 31日 14 時
----------	----------------------

件 名	第5回「大阪湾再生推進会議」の報告について
-----	-----------------------

概 要	<p>平成19年1月26日、第五回「大阪湾再生推進会議」が開催されました。</p> <p>森・川・海のネットワークを通じ美しく親しみやすい大阪湾の創出をめざす都市再生プロジェクト「大阪湾再生」の、平成18年度フォローアップ結果の取りまとめと、19年度の取り組み方針について話し合う『大阪湾再生推進会議』が1月26日堺市で開催されました。</p> <p>大阪湾再生の取り組みも、平成16年3月の行動計画策定から丸3年が経過しようとしており、平成19年度からは、これまでの行動画に則った取り組みの他、大阪湾において発生が懸念されている「青潮」への対策など、新たな課題解決に向け着手していくことが確認されました。</p> <p>また、19年度には、これらの取り組みと併行して、3年間の取り組みの「中間評価」を取りまとめ、その結果をシンポジウム、パブリックコメント等を通じ市民に周知すると共に、必要に応じ行動計画の一部見直しも実施することとされています。</p> <p>(詳細は次ページ参照)</p>
-----	--

取 扱 い	_____
-------	-------

配 布 場 所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、大阪府政記者会、堺市政記者クラブ、神戸海運記者クラブ、神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ
---------	--

問い合わせ先	<p>・近畿地方整備局企画部広域計画課 山本、勝井、桑原 電話:06-6942-1141(内線3241)、 06-6942-4090(直通)</p>
--------	--

第5回 大阪湾再生推進会議【報告】

森・川・海のネットワークを通じ美しく親しみやすい大阪湾の創出をめざす都市再生プロジェクト「大阪湾再生」の、平成18年度フォローアップ結果の取りまとめと、19年度の取り組み方針について話し合う『大阪湾再生推進会議』が1月26日堺市で開催された。



← 布村近畿地方整備局長の挨拶



↑ 市民参画による取り組みの報告の様子

大阪湾再生の取り組みも、平成16年3月の行動計画策定から丸3年が経過しようとしており、平成19年度からは、これまでの行動計画に則った取り組みの他、大阪湾において発生が懸念されている「青潮」への対策など、新たな課題解決に向け着手していくことを確認した。

また、19年度には、これらの取り組みと併行して、3年間の取り組みの「中間評価」を取りまとめ、その結果をシンポジウム、パブリックコメント等を通じ市民に周知すると共に、必要に応じ行動計画の一部見直しも実施する。

(次年度の取り組み方針の詳細は次ページ参照)

【大阪湾再生推進会議構成員】

内閣官房都市再生本部、国土交通省、農林水産省、経済産業省、環境省、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、(財)大阪湾ベイエリア開発推進機構

主な意見、発言は以下のとおり

都市再生プロジェクト「海の再生」も東京湾、大阪湾に続き、現在、伊勢湾において、行動計画の策定が進んでいる。同湾では「伊勢湾民」というキーワードで、市民の参加陸海の連携を呼びかけており、今後は大阪湾においても「湾民意識」という視点にたった取り組みを期待したい。
(内閣官房 都市再生本部)

大阪湾再生のためには市民協働が不可欠であり、五管本部においても様々な取り組みを実施しており、市民の大阪湾への関心が高まっていると感じている。19年度は是非とも「大阪湾再生のシンポジウム」の開催を強く希望する。

(第五管区海上保安本部)

堺市では今年度から推進会議に参画しており、アピールポイントである堺浜周辺や市民と身近な内川において魅力的な水辺空間の利用や、水質浄化の取り組みを実施してきたところ。今後ともこの行政・企業・市民が参画した大阪湾再生のネットワークを活用し、身近な海と山の再生への取り組みを進めていきたい。
(堺市)

第5回大阪湾再生推進会議

H19年度に実施する主な取り組み

水質の改善

- 1) 陸域から大阪湾への流入負荷量の一層の削減
府県による**第6次水質総量削減計画**、下水道の高度処理化、合流式改善等の推進
市民等による**森林整備の枠組みの拡大**
- 2) 湾奥部における水質改善施策の実施
実証実験の事業化へ向けた検討

多様な生物の生息・生育場の再生

- 3) 浅場・干潟・藻場等の再生
目標数量を達成した浅場等の**さらなる整備の推進**

親水性の向上

- 4) 親水拠点の拡大
臨海部の企業等との連携・協働の継続と拡大（**緑地整備、パブリックアクセス**）
人と海との触れ合いの機会の提供の継続

浮遊・漂着・海底ごみの削減

- 5) ごみの削減対策の実施
新造船・**海洋環境整備船「Dr.海洋」**の就航
海岸漂着ごみの**処理支援方法**の検討

重点エリアにおける集中的・先駆的な取り組み

- 6) 海陸連携の取り組みの推進
集中的な取り組みの継続的な実施
先駆的な取り組みの**成果の水平展開**

大阪湾再生のためのモニタリング

- 7) 大阪湾再生水質一斉調査の継続と発展
水質一斉調査を継続するとともに、関係各機関連携による**調査目的別（例えば、貧酸素）の調査結果の取りまとめ**等の実施
- 8) 青潮現象に関する現況把握
青潮に関する情報の収集・整理、検討の実施
貧酸素化が問題となる**湾奥部を中心にD Oのモニタリングの充実化**を図る

社会実験・実証実験及び市民などと協働の取り組み

- 9) 住民参加型の取り組みの支援、情報の発信
市民主導による**御前浜でのなぎさ際を美しくする**取り組みの実施

大阪湾再生行動計画の「中間評価」

- 10) 大阪湾再生行動計画への広範な意見の反映
行動計画の中間評価結果の公表、パブリックコメントやシンポジウム開催の検討
必要に応じ行動計画の見直し